

すてなほ

VOL. 33

皆さんは物を捨てる時、「資源になるもの」と「ごみとして処分するもの」を意識していますか。「ごみ」はたくさんの人や経費を使って、東京湾の最終処分場に埋め立て処分されています。

しかし、最終処分場で埋め立てることのできるごみの量には限りがあります。また、地球環境への負荷を少なくするためにも、ごみを減らす工夫が必要です。

今回は、区が推進している「集団回収」を紹介します。身近なリサイクル活動としての「集団回収」に積極的に参加しましょう。

【問合せ】リサイクル清掃課事業計画係（本庁舎7階）☎（5273）3318へ。

▶▶ 集団回収を始めませんか ◀◀

資源回収の2つの方法

集団回収

地域の皆さんが中心となり、資源回収業者の方と回収品目・回収方法を定める、自主的なリサイクル方法です。

現在、新宿区では、町会・自治会など300以上が登録団体として活動しています。

区は登録をして集団回収を行う団体に、回収量に応じて報奨金や物品を支給し、支援しています。

※段ボール・アルミは報奨金の対象外です。

集団回収は、指定場所に回収に来てくれるので、古紙等の持ち去り防止にも有効なんだ。



集団回収は、資源がたくさん効率よく集まるので、リサイクルが進むのよ。



区の回収

毎週1回、古紙類はごみの集積所で、びん・缶類は道路の脇などに置いた回収容器（コンテナ）で回収しています。

ペットボトルはスーパー・コンビニエンスストア等の店頭で設置してある専用回収ボックスに入れていただき、区が回収します。

乾電池・紙パックは決まった拠点で回収しています。

区による回収では、古紙の場合1キログラム当たり35円程度の回収経費が掛かります。



収集現場からお願い

週1回設置するびん・缶の回収容器や、スーパー・コンビニエンスストア等に設置されているペットボトル専用回収ボックスに、ごみや汚物が入っていることがあります。分別に時間や費用が掛かるだけでなく、リサイクルできなくなってしまう。

限りある資源を有効に使うためにも、びん・缶・ペットボトルを回収に出すときは、次のことにご協力をお願いします。

- ①決められたもの以外は出さない、②中身の入っているものは出さない、③はずせるキャップ・ラベルは可燃または不燃ごみに区別して出す、④中をすすぐ、⑤ペットボトルはつぶす
- また、びん・缶の回収容器は別の場所に動かさないでください。

集団回収の開始まで

住民の皆さんが10世帯以上集まってスタートです

◎たくさんを集めるために、できるだけ多くの方に参加を呼び掛けましょう。

代表者・担当者などの役割分担を決めます

◎役割分担などを決めて、皆さんで協力して団体を運営しましょう。

回収業者・回収品目・回収場所などを決めます

◎回収業者が分からないときなどは、お気軽にリサイクル清掃課事業計画係にご相談ください。

区に団体登録して、集団回収の開始です

◎回収が始まったら、毎月の回収実績を区に報告します。報告は、回収品目ごとの回収量を業者に記入してもらった報告書を提出していただきます。

◎登録団体には、回収量1キログラム当たり6円の報奨金を、年に2回、まとめて支払います。

※段ボール・アルミは報奨金の対象外です。

◎年に1回、希望調査の上、軍手・エプロン・ほうきなどを支給します。

また、希望する団体には、回収場所の標識旗、掲示用チラシなどをお渡します。

簡単そうだし、みんなのリサイクル意識も高まるわね。うちのマンションでも始めようかしら。



◎リサイクルするためには、きちんと分別しないと資源になりません。分別は徹底しましょう。

行ってみました「集団回収現場」⑨

神楽坂トワイシア・パークサイドレジデンス管理組合

神楽坂トワイシア・パークサイドレジデンスは、75世帯が入居する分譲マンションです。

管理人の方は、「以前から集団回収には関心がありました。毎週来てくれる回収業者の方を知り、昨年12月から始めました。入居者の方がルールを守って資源を保管場所に出してくれるので、分別をやり直すことも少ないです。区の資源回収に出していたときは持ち去られることもありましたが、業者の方が保管場所まで回収に来てくれるので、現在はそのようなことはありません」と話してくれました。

資源の保管場所には出し方の説明書きをはるなど、入居者の方が分別をする際に分かりやすいように工夫をしています。

入居者の方の中には、ドイツやフランスなど、リサイクルや分別回収の意識が高い国から来日した方もいて、日本人以上に徹底して分別するそうです。

報奨金については、「回収した資源の量に応じて支給されることは知っていましたが、思っていた以上の金額でした。初めての報奨金の使い方は理事会で決めて、有効に活用していきます」と話していました。



16年度ごみ・資源の収集量 (単位:トン、▲はマイナス)

区分	16年度	15年度	増減
ごみ	可燃	73,825	77,105 ▲3,280
	不燃	22,331	22,682 ▲351
	粗大	1,606	1,720 ▲114
	計	97,762	101,507 ▲3,745

区分	16年度	15年度	増減
区の資源回収	古紙	9,867	11,094 ▲1,227
	ペットボトル	419	366 53
	びん・缶	3,220	3,328 ▲108
	紙パック・乾電池	32	33 ▲1
	計	13,538	14,821 ▲1,283
集団回収	6,828	6,648 180	

※16年度の数値は速報値（東京二十三区清掃協議会、新宿区集計値）です。
※このほかに、事業者が排出するごみで、廃棄物処理業者等が回収し清掃工場に搬入するごみもあります。

一口メモ

★ 3つのRを实践しよう ★
～できることから始めよう～

- ①最初に「Reduce（リデュース）」…物を大切に使い、ごみを減らそう
- ②次に「Reuse（リユース）」…繰り返し使おう
- ③最後に「Recycle（リサイクル）」…資源として再び利用しよう

生ごみの水を切るだけでも、ごみの減量につながります

生ごみは家庭から出るごみの約3分の1を占めています。また、たくさん水分を含んでいるため腐りやすく、特にこれからの季節は臭いが気になります。

食料品の買い過ぎや、料理の作り過ぎには気を付けて、なるべくごみを出さないようにしましょう。また、水切りを実践してごみを減量しましょう。

- 水切りを徹底すると---
- ◎ごみの量と重さが減ります。
- ◎ごみの臭いを抑えることができます。
- ◎清掃工場では可燃ごみを燃やして発電もしているため、清掃工場での発電効率が良くなります。



小さなことでもごみの減量につながりますよ！

